

## シジュウカラガン（カモ科） 全長55～67センチ

シジュウカラガンはNo.114で既に紹介しているが、再度取り上げます。

絶滅危惧ⅠA類に指定される希少種シジュウカラガン。大仙市では2015年3月10日に初めて飛来が確認され、二度と見ることが出来ないだろうと思っていたが、今年3月26日に20羽が再び飛来し驚きました。6年ぶりの事です。

県内では大湊村と能代市の小友沼が主な飛来地であるが、他の地域ではほとんど観察されることがありません。なぜ大仙市内に降り立ったのでしょうか。



畦道でくつろぐ

今年はマガンが200羽単位で飛来し、沼の周辺に3日間も滞在したのは初めての事です。

このマガンの群れと一緒に、シジュウカラガンが行動を共にしていたのです。周辺の田んぼは、コハクチョウとオオハクチョウが田んぼを埋め尽くすほどで、その数約2000羽。壮観な眺めです。



餌探しに夢中です



仲良くおさんぽ？

こうしたハクチョウの群れを見たマガンとシジュウカラガン。ここは安全で餌もあると映り降り立ったのではないかと思います。

神宮寺大浦沼周辺の田んぼは、渡り鳥の貴重な中継地点となりつつあり、今後も続いてくれることを願っています。



小走りで助走中



そして飛び立った